

はじめに

皆様には、日頃より、鶴見区政の推進に御理解、御協力をいただきましてありがとうございます。鶴見区は、戦後、日本の高度経済成長を支えてきた臨海部の産業の発展とともに、就業人口が増加し、まちも発展してきました。現在、区の人口は約29万6千人(市内18区中第3位)、世帯数は約14万6千世帯(同第2位)となっています。横浜市が発表した将来推計人口によりますと、鶴見区の人口は2042年まで伸び続け、18区の中で最後まで人口増加が続くと見込まれています。

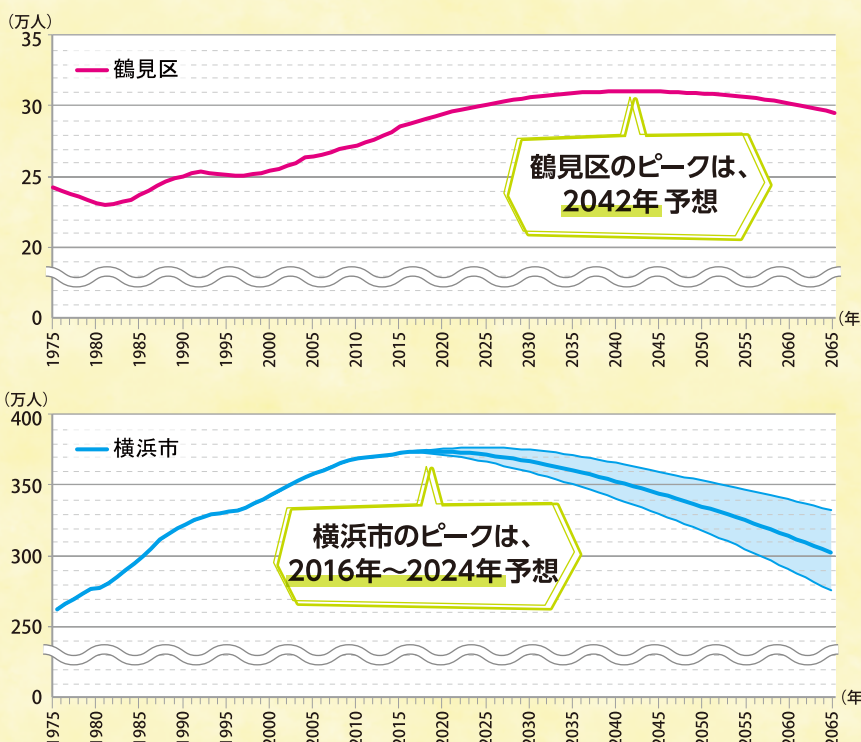
令和2年10月に行われた国勢調査の結果は、総務省より順次公表されており、令和4年中には全てのデータをお伝え出来る予定です。この冊子では現時点で公表されている最新データを用いて、人口や産業をはじめ、生活に関連する様々なデータを分かりやすくまとめています。鶴見区の特徴、歩み、将来を考える際の資料として、御活用いただければ幸いです。

一昨年より新型コロナウイルス感染症の影響が、皆様の生活に大きな変化をもたらしています。このような移り変わりもお伝えできるよう、これからもデータの蓄積を続けてまいります。

最後に、発刊にあたり、貴重な資料を御提供いただきました関係諸機関をはじめ、御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

令和4年2月 鶴見区長 森 健二

COLUMN



鶴見区の人口は 2042年がピーク!?

横浜市では5年ごとに行われる国勢調査をもとに将来の人口を予想しています。平成29年(2017年)に公表された将来推計人口では、横浜市の人口のピークは平成28年(2016年)~令和6年(2024年)におとずれ、その後減少すると予測される中、鶴見区は令和24年(2042年)を目安に人口のピークを迎えると予測されています。

※2019年以降は、2015年の国勢調査に基づいた推計値

人口の統計情報はP4以降に掲載しているよ!



資料:行政区の人口の推移、横浜市将来推計人口(政策局)